

＜参考データ集＞
「みんなの汗の悩み実態調査 発汗白書2026」

2026年7月

汗で病院あたりまえに委員会

KAKEN

Hisamitsu

maruho

<調査概要>

汗に関する意識実態調査（一般向け調査）

調査主体：「汗で病院あたりまえに委員会」プロジェクト
調査機関：株式会社エクスクリエ、株式会社メディリード（調査委託）
調査方法：インターネット調査
調査時期：2026年2月

調査対象：日本全国の15歳～59歳男女9,459名
（汗の悩みがある人：4,767名、汗の悩みがない人：4,692名）

※本調査における「汗の悩みがある人」の定義：自身の汗について「汗は我慢できず、日常生活に常に支障がある」「汗はほとんど我慢できず、日常生活に頻繁に支障がある」「汗は我慢できるが、日常生活に時々支障がある」のいずれかにあてはまると回答した人。

「汗の悩みがない人」の定義：自身の汗について「汗は全く気にならず、日常生活に全く支障がない」と回答した人。

（割付詳細）

居住地	全国合計									
	男性					女性				
性別										
年齢(歳)	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59
汗の悩みがある人(n)	357	490	490	490	490	490	490	490	490	490
汗の悩みがない人(n)	309	490	490	490	490	463	490	490	490	490

多汗症に対する皮膚科医師の意識調査（医師向け調査）

調査主体：「汗で病院あたりまえに委員会」プロジェクト
調査機関：株式会社エクスクリエ、株式会社メディリード（調査委託）
調査方法：インターネット調査
調査時期：2026年2月

調査対象：多汗症の診療経験のある皮膚科医師 200名

<スクリーニング要件>

- ・医師経験年数3年以上35年以下
- ・直近1年間での多汗症の「最多月間診察患者数」または「月間平均診察患者数」が5名以上

※本調査を引用する場合は

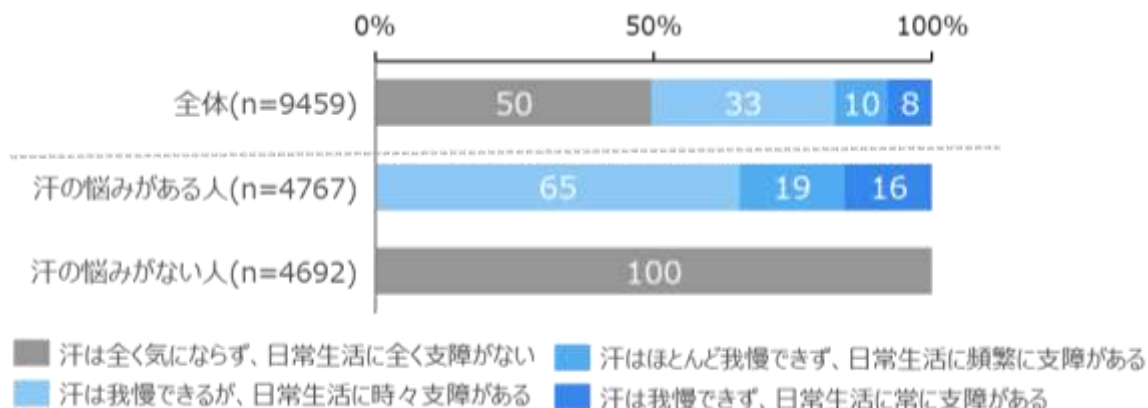
「2026年「汗で病院あたりまえに委員会」調べ」または「汗で病院あたりまえに委員会『汗に関する意識実態調査（2026年）』」と記載ください。

注：本資料中の数値は、全て少数点以下を四捨五入しています。

（単一回答の各項目は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。）

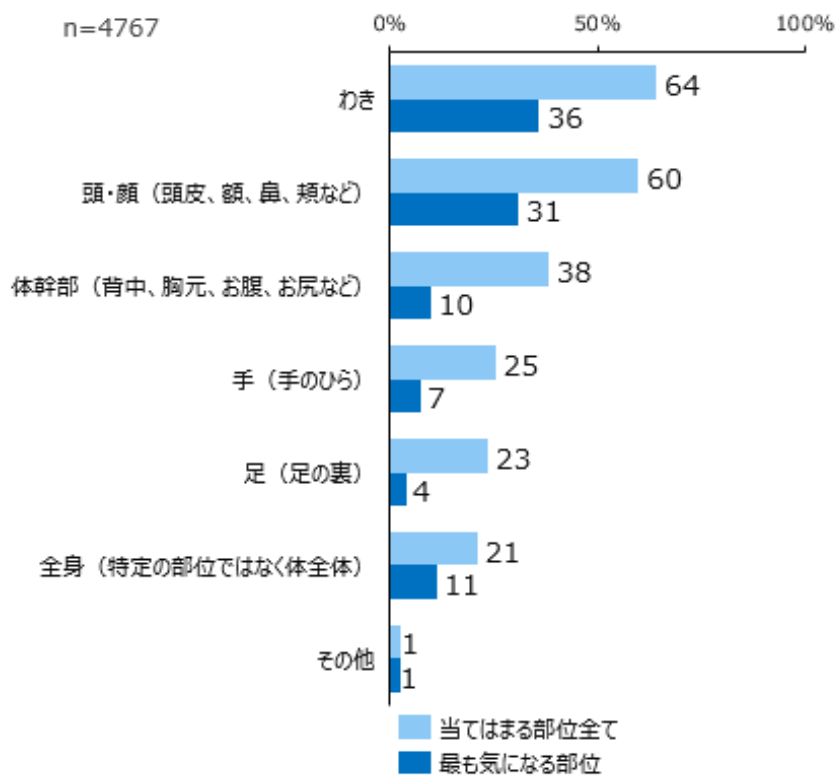
<調査結果>
汗に関する意識実態調査（一般向け調査）

プレ調査7：あなたは、ご自身の汗に関して、どの程度お悩みですか。最もあてはまるものをお選びください。（単一回答）

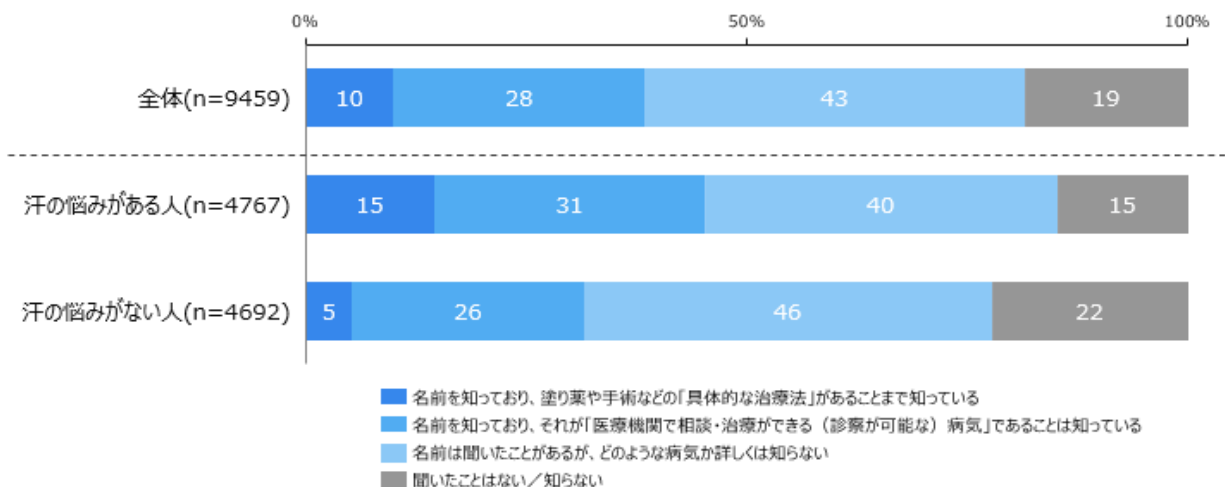


プレ調査8：あなたが、発汗で、気になっている体の部位はどこですか。あてはまる部位すべて（複数回答）と、最も気になる部位1つ（単一回答）をお選びください

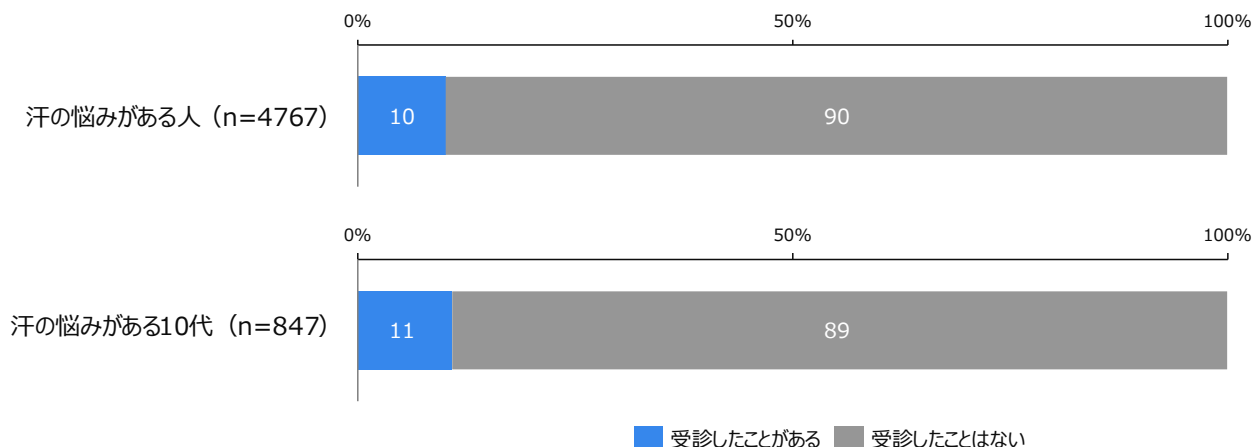
※降順に並べ替え
※汗の悩みがある人へのみ聴取



プレ調査9：あなたは、「多汗症（たかんしょう）」という病気について、どの程度ご存知ですか。今のあなたに最もあてはまるものを1つお選びください。（単一回答）



プレ調査10：あなたは今までに汗の悩みで医療機関を受診したことがありますか。（単一回答）



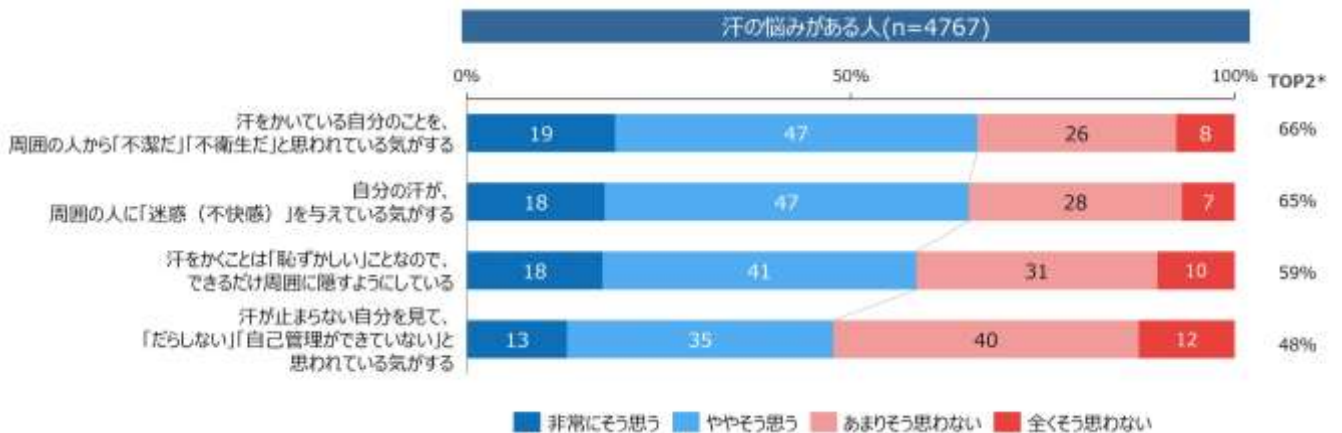
Q1 : あなたは普段、汗（または汗をかいている人）に対して、どのような印象を持っていますか。ご自身の考えにあてはまるものをお選びください。（各項目単一回答）

*TOP2 : 「非常にそう思う」、「ややそう思う」計



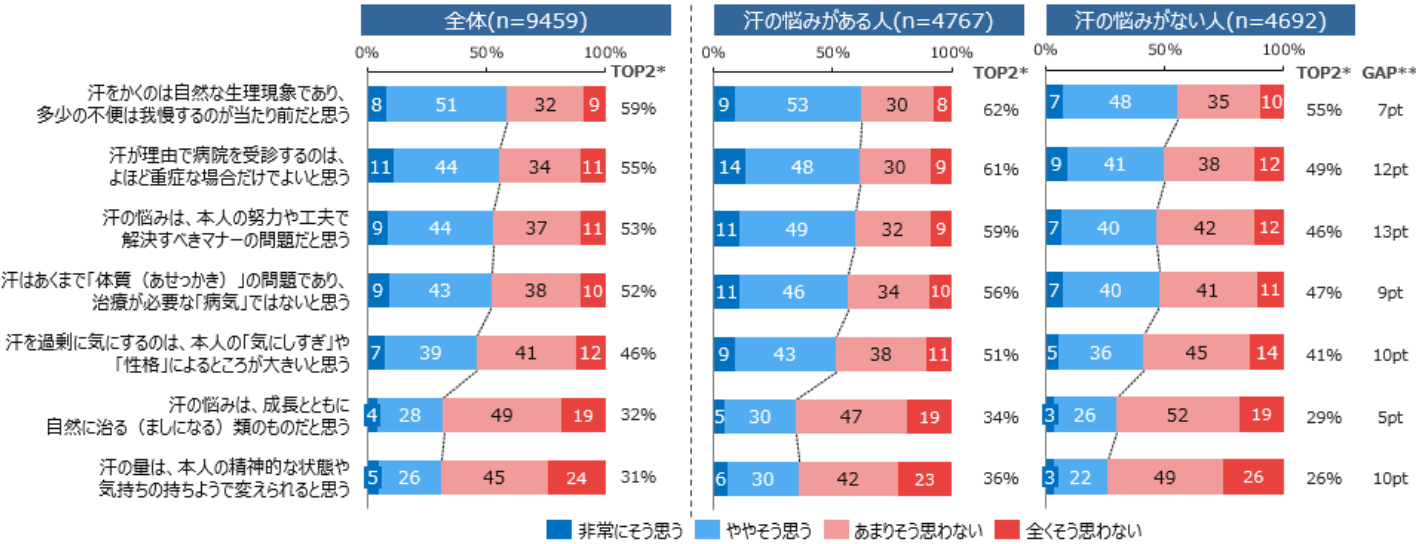
Q2 : あなたご自身の「汗」について、普段感じていることであてはまるものをお選びください。（各項目単一回答）

*TOP2 : 「非常にそう思う」、「ややそう思う」計



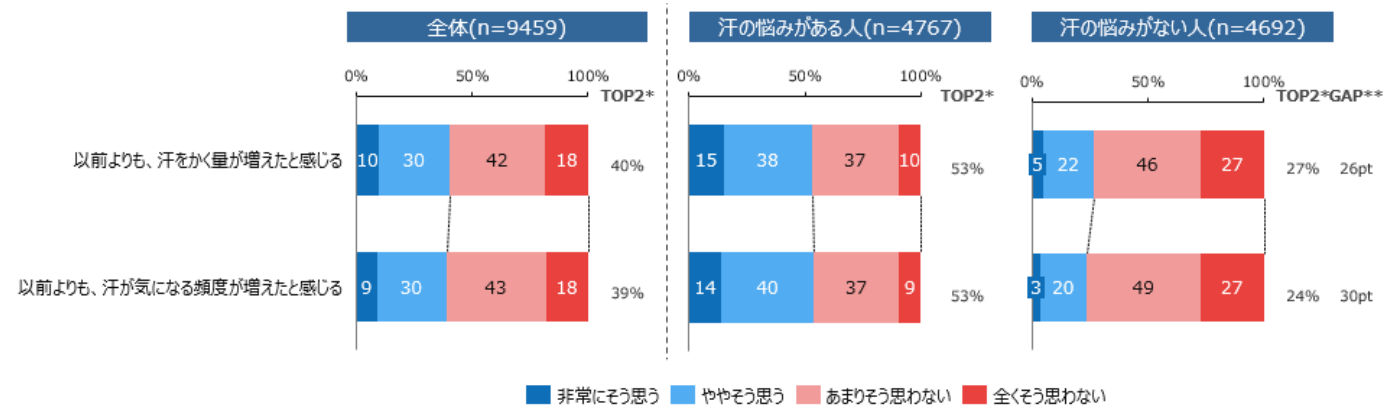
Q3:汗をかくことや、汗に関する悩みについて、あなたの考え方に近いものをお選びください。（各項目単一回答）

*TOP2：「非常にそう思う」、「ややそう思う」計
 **GAP：「汗の悩みがない人」と「汗の悩みがない人」のTOP2割合の差



Q4 近年の気候変動（記録的な猛暑、夏の長期化、湿度の上昇など）の影響により、数年前と比較してご自身の「汗」に関することで、あてはまるものをお選びください。（各項目単一回答）

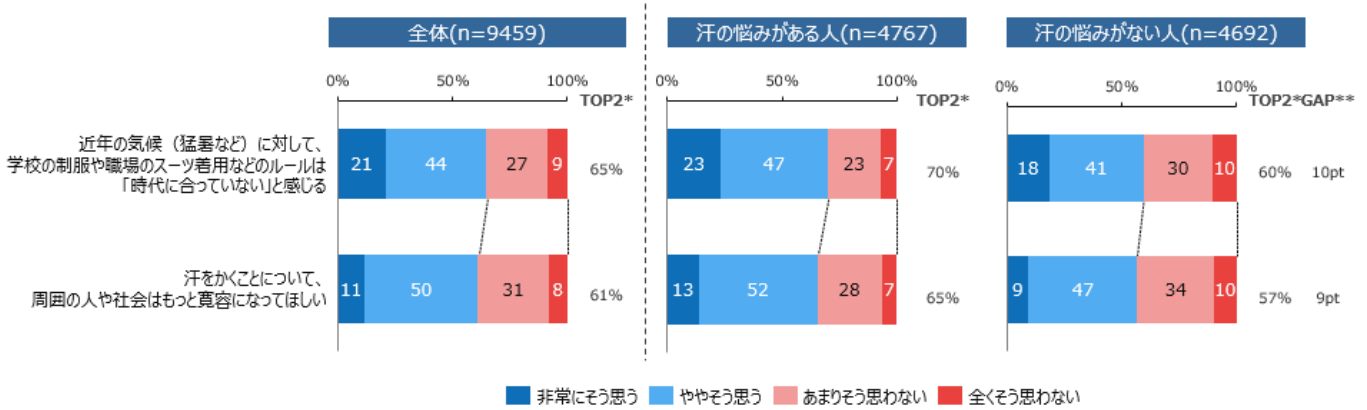
*TOP2：「非常にそう思う」、「ややそう思う」計
 **GAP：「汗の悩みがない人」と「汗の悩みがない人」のTOP2割合の差



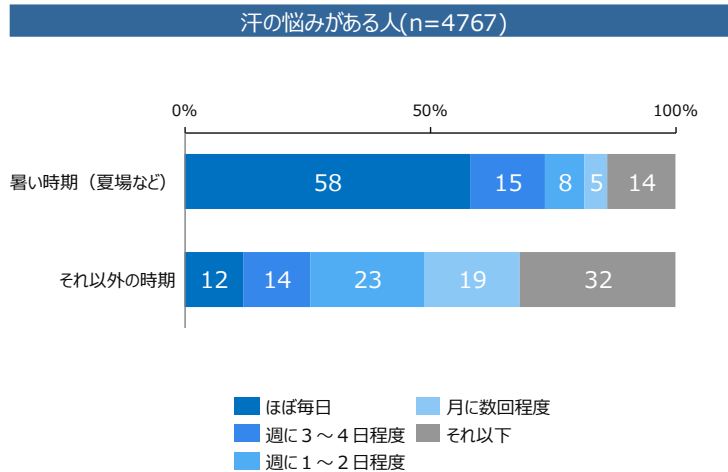
Q5 あなたは、学校・職場・公共の場所など、普段の生活における「ルール」や「社会の雰囲気」について、次のように感じることはありますか。それぞれの項目について、あなたの気持ちに最も近いものをお選びください。（各項目単一回答）

*TOP2：「非常にそう思う」、「ややそう思う」計

**GAP：「汗の悩みがない人」と「汗の悩みがない人」のTOP2割合の差

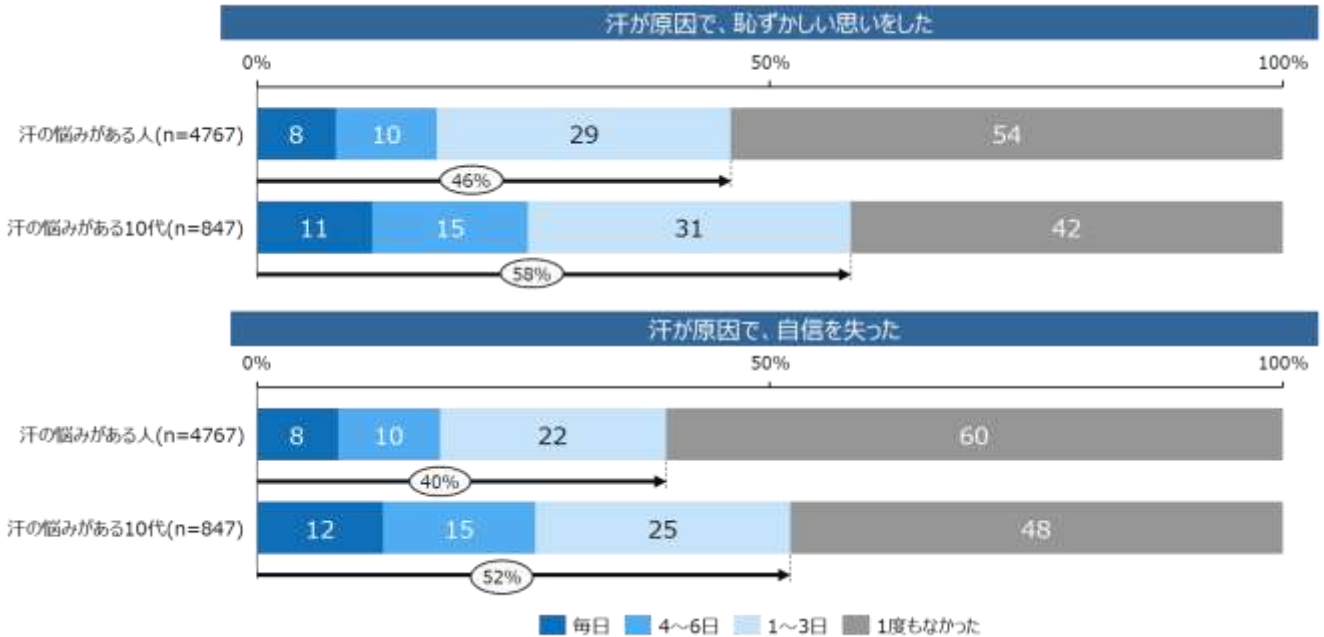


Q6 あなたは、日常生活の中でご自身の汗が気になったり、困ったりすることはどの程度ありますか。「暑い時期（夏場など）」と「それ以外の時期」それぞれについて、あてはまる頻度をお選びください。激しい運動中やその直後は除いてお答えください。（各項目単一回答）



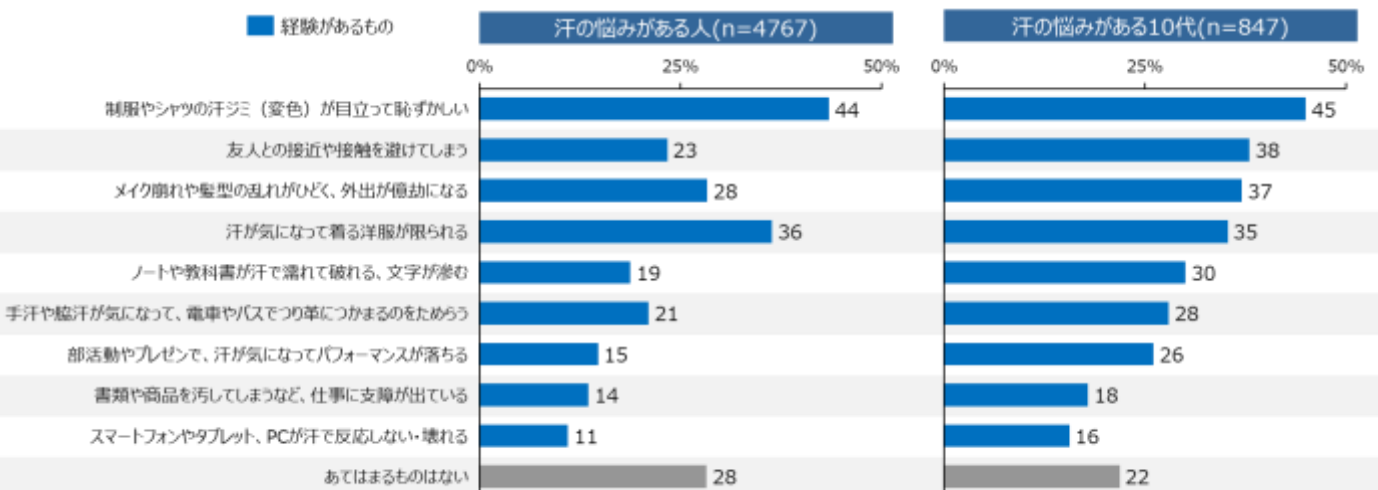
Q6-2 あなたが汗を最も気にしている時期に、以下のような出来事は1週間のうちどの程度ありましたか。それぞれについて、あてはまるものをひとつずつ教えてください。（各項目単一回答）

※汗の悩みがある人にもみ聴取



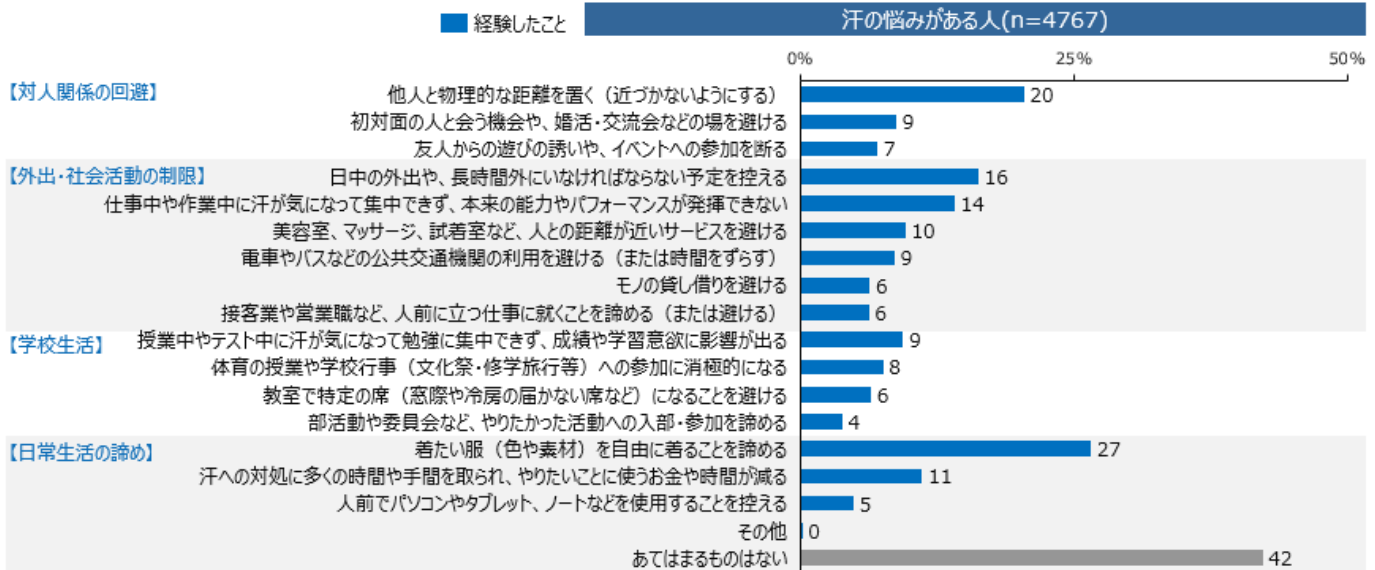
Q7 あなたは、ご自身の汗が原因で、以下のような具体的なトラブルや不便を経験したことがありますか。あてはまるものを全てお選びください。（複数回答）

※汗の悩みがある人にもみ聴取

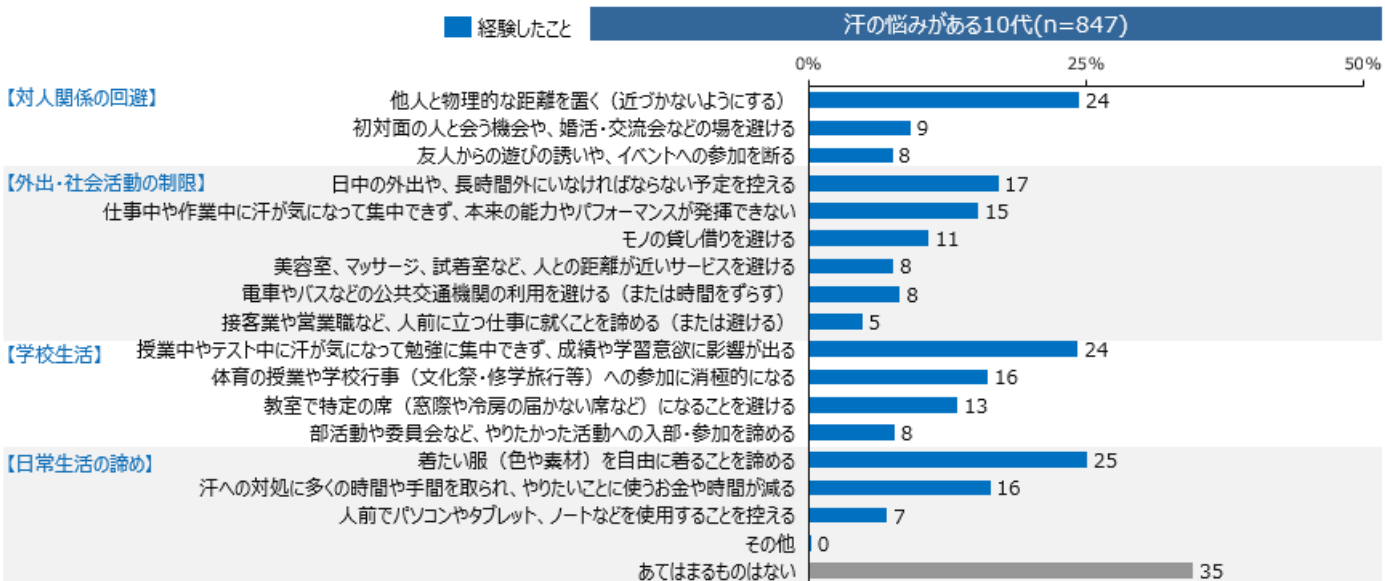


Q9 あなたは、これまでにご自身の「汗」が理由で、以下のような行動をとったり、本来やりたかったことを諦めたりしたことがありますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

※汗の悩みがある人のみ聴取
※各項目内の降順に並べ替え

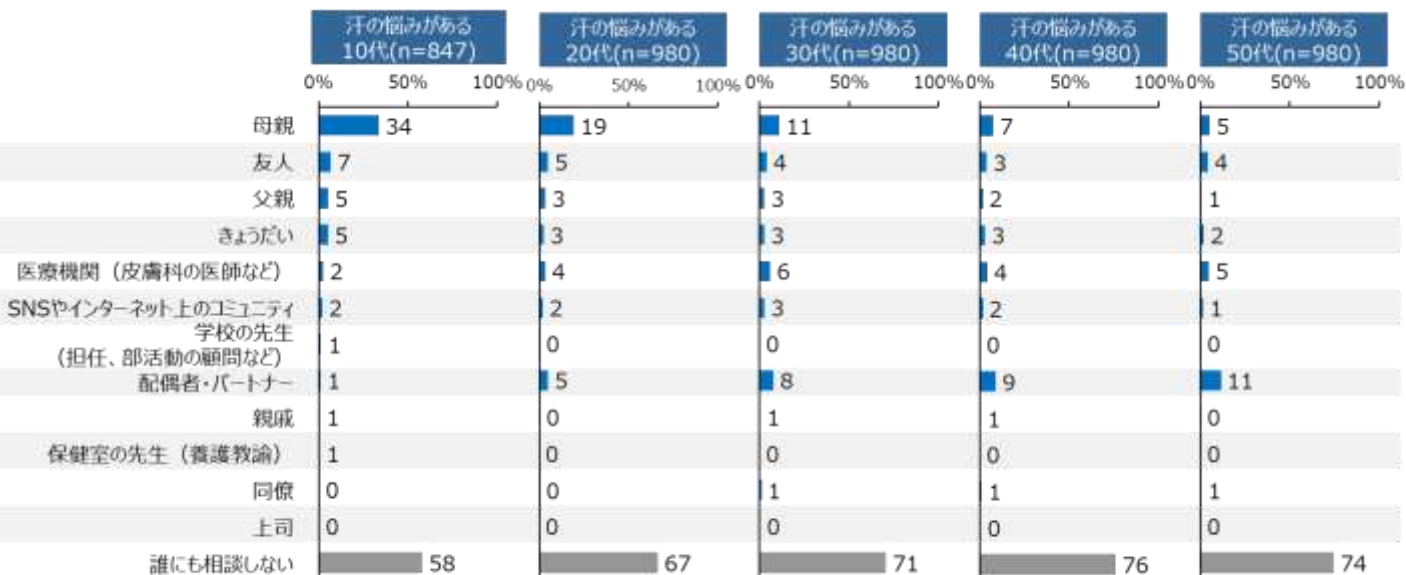
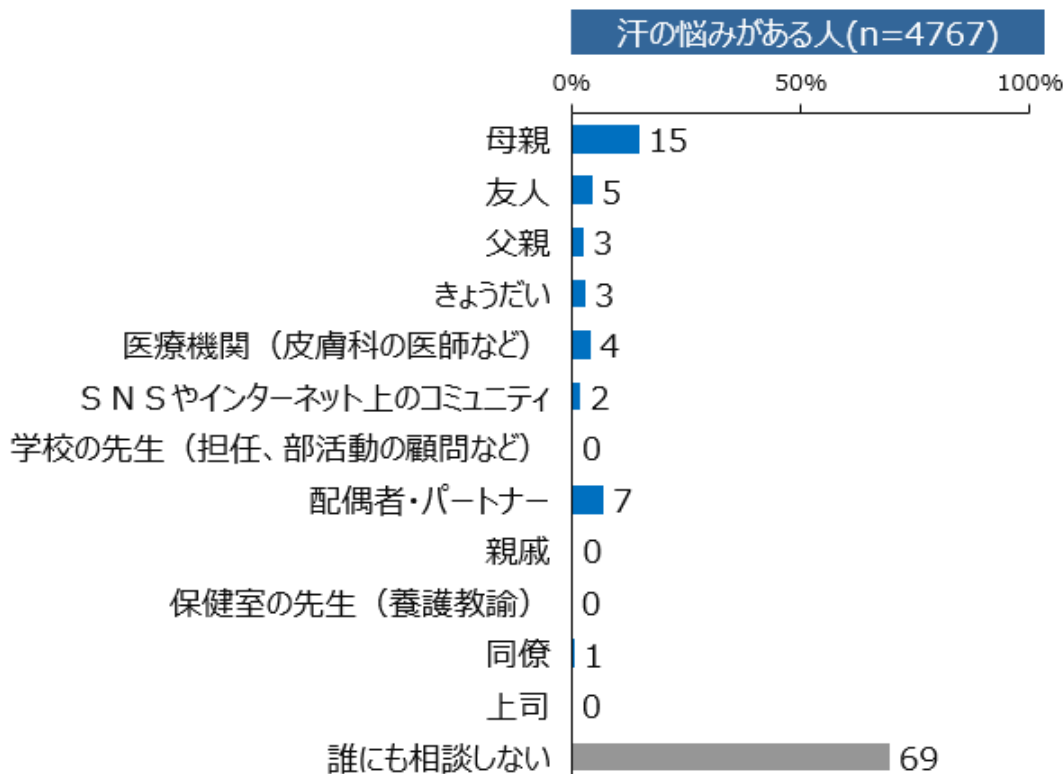


※汗の悩みがある人のみ聴取
※10代の各項目内の降順に並べ替え



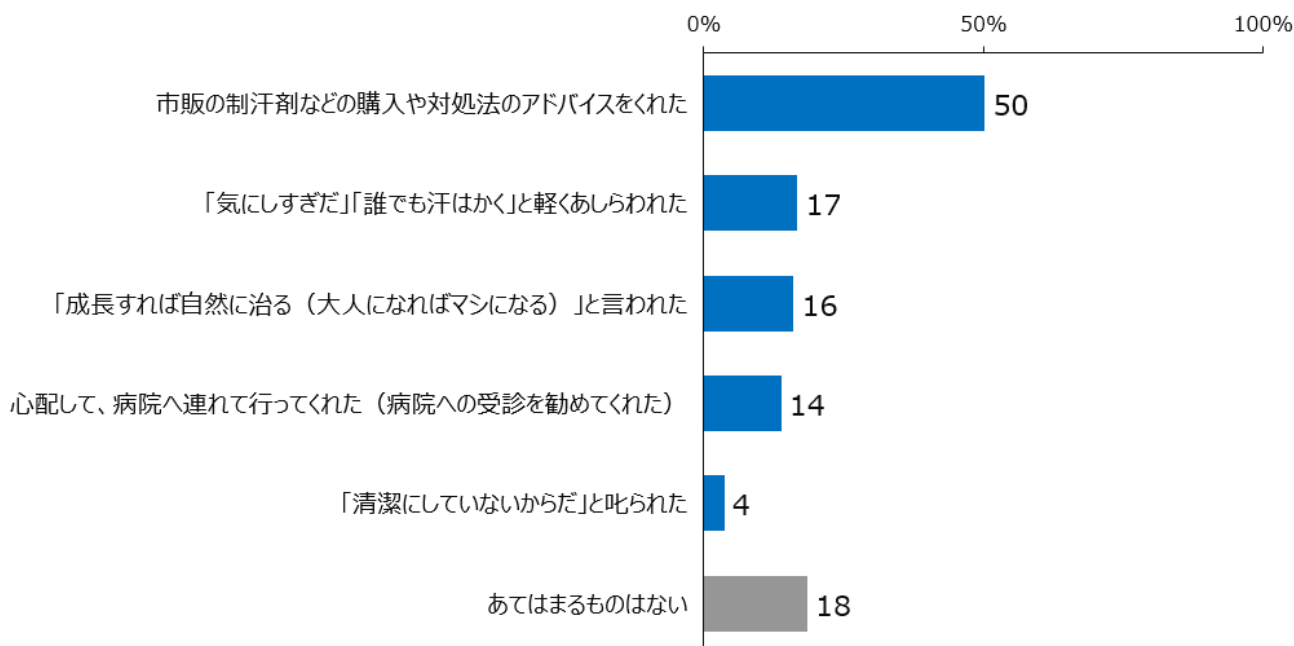
Q12 あなたは、ご自身の「汗」や「発汗量」のことに、誰に相談したいですか。実際に相談したことがある相手をお教えてください。(複数回答)

※汗悩みがある人へのみ聴取

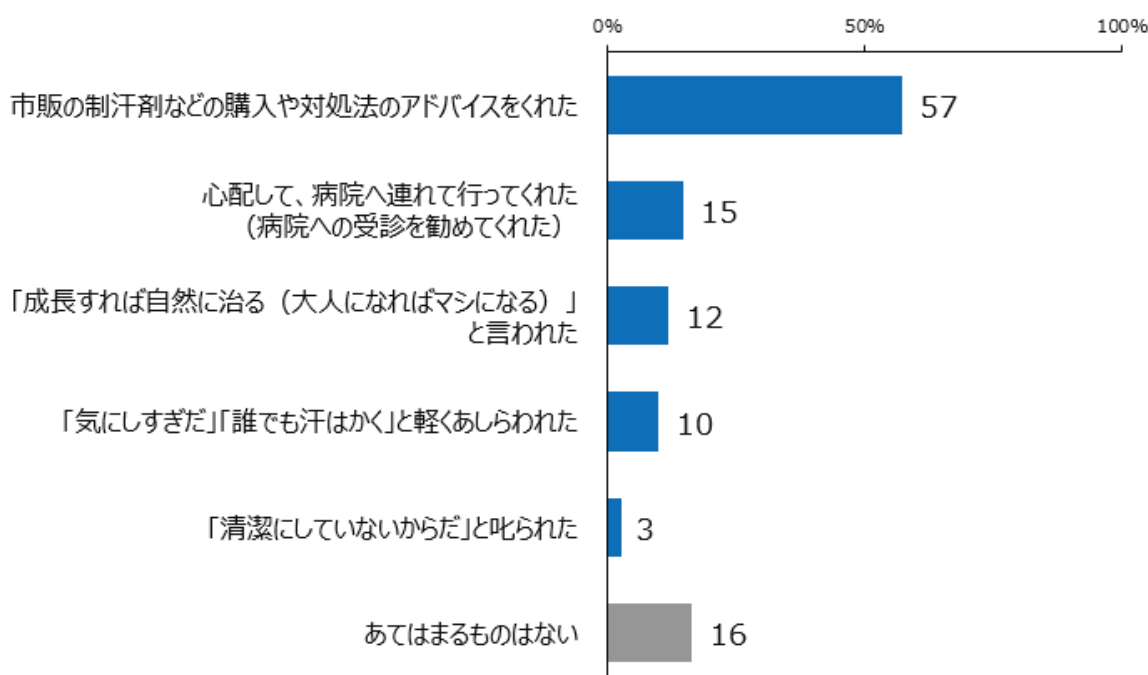


Q13：「母親」または「父親」に相談したことがある方にお伺いします。汗の悩みを親御さんに話した際、どのような反応が返ってきましたか。（複数回答）

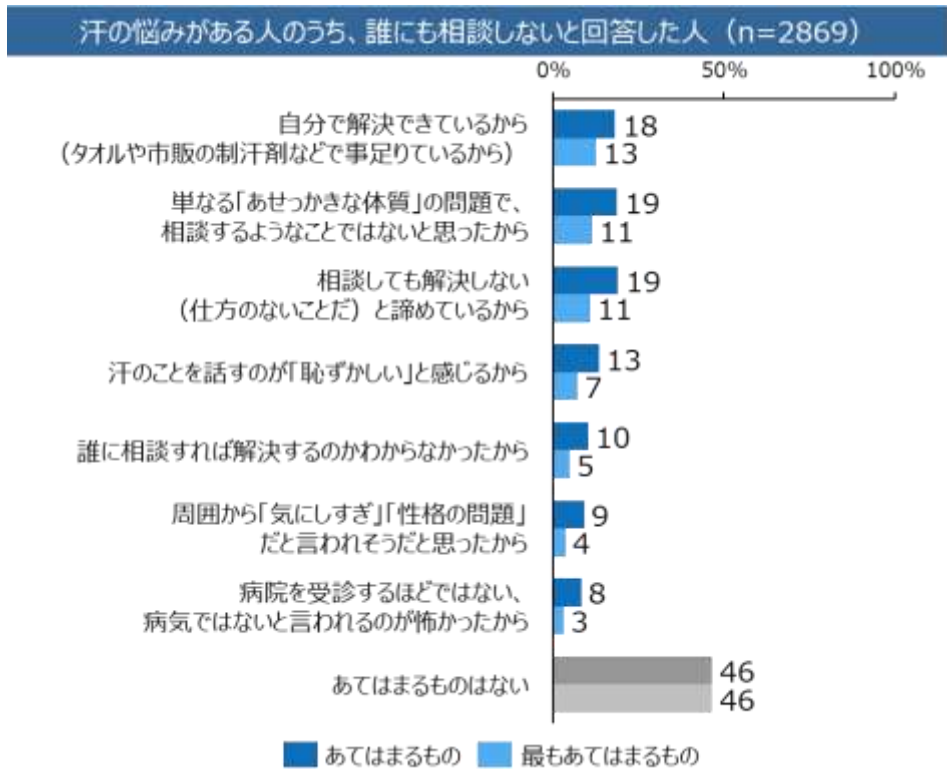
汗の悩みがある、かつ「母親」または「父親」に相談したことがある(n=731)



汗の悩みがあり、かつ「母親」または「父親」に相談したことがある10代(n=293)

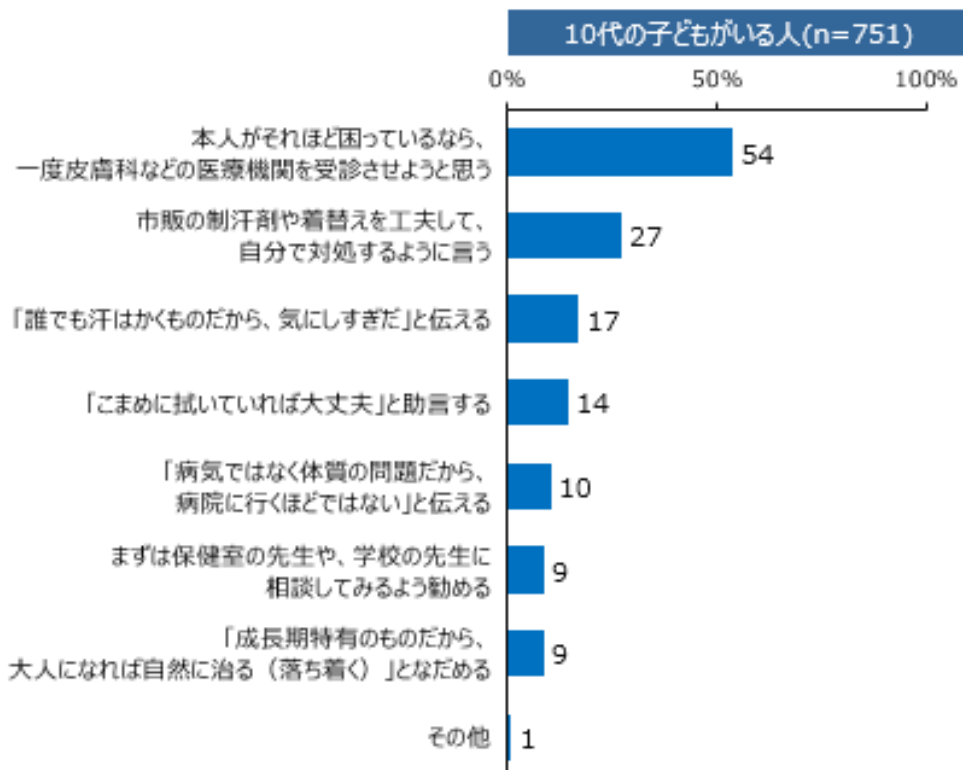


**Q14 Q12で「誰にも相談しない」とお答えの方にお聞きます。相談しない（できない）理由はなんですか。あてはまるもの全てと、そのうち最もあてはまるものをお選びください。
 ／あてはまるもの（複数回答） 最もあてはまるもの（単一回答）**



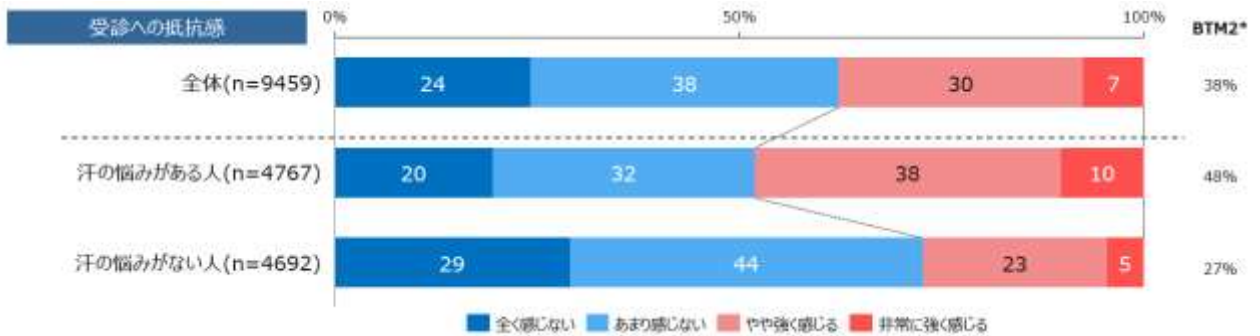
Q15 もし、お子さま（10代）から、「毎日、汗の量が異常に多くて、学校生活でとても困っている」と相談されたとしたら、親としてどのように考え、対応すると思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

※20代以上で10代の子供がいる人にもみ聴取



Q17 あなたは、ご自身の汗の悩みについて医療機関（皮膚科など）に相談・受診することに対し、どの程度「ためらい」や「抵抗感」を感じますか。あてはまるものをお選びください。
相談・受診をしたことがある方は、初めて医療機関を受診する前のことを思い出してお答えください。
（単一回答）

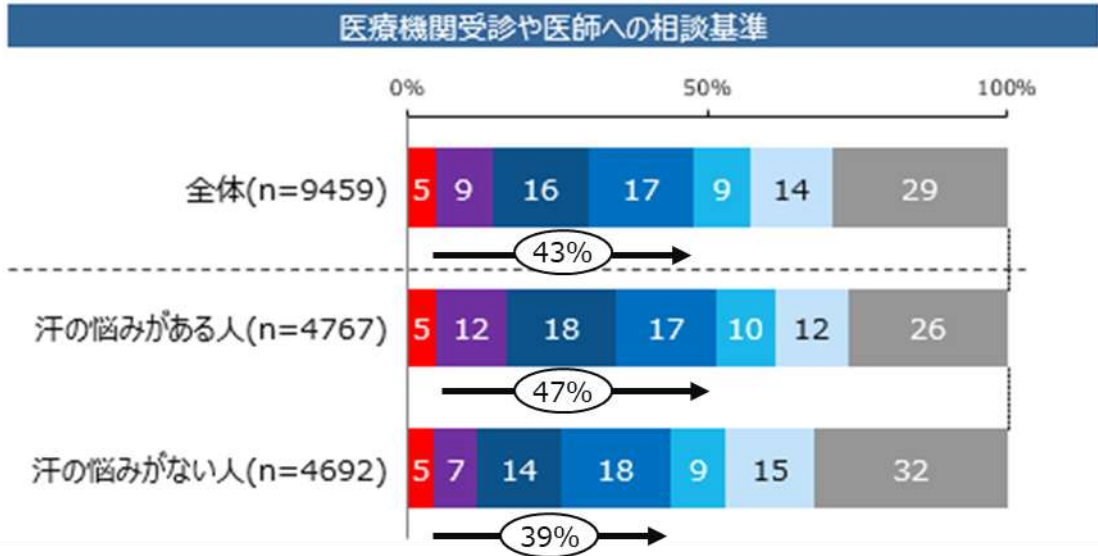
*BTM2：「やや強く感じる」、「非常に強く感じる」計



Q18 医療機関（皮膚科など）に相談・受診することに対して「ためらい」や「抵抗感」を感じる理由として、あてはまるものをすべてお選びください。
（複数回答、Q17で相談・受診することに対して「ためらい」や「抵抗感」を感じると回答した人に聴取）



Q19 あなたは、「汗」について医療機関（皮膚科など）を受診したり、医師に相談したりしてもよいのは、どの程度の状態（レベル）からだと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つお選びください。（単一回答）

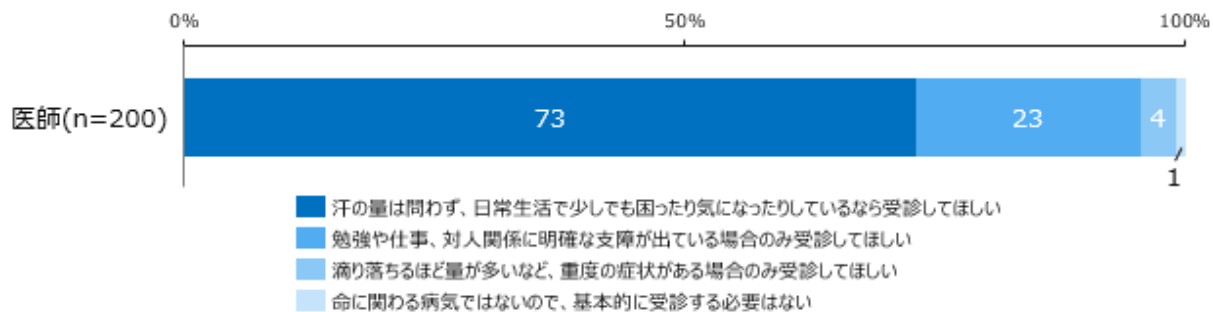


- 汗は体質の問題なので、どのような状態でも病院に行く必要はないと思う
- 汗がしたり落ちるなど、誰が見ても明らかに重症な場合のみ
- 仕事や勉強が全く手につかないなど、日常生活が送れないほど深刻な場合のみ
- 服の汗染みや、紙が濡れるなどの「実害」や「不便」がある場合
- 実害はなくても、本人が「人目」を気にしている場合
- 汗の量に関わらず、本人が「少しでも困っている・不快だ」と感じるならいつでも
- わからない

<調査結果>
多汗症に関する意識調査（医師向け調査）

医師調査Q4

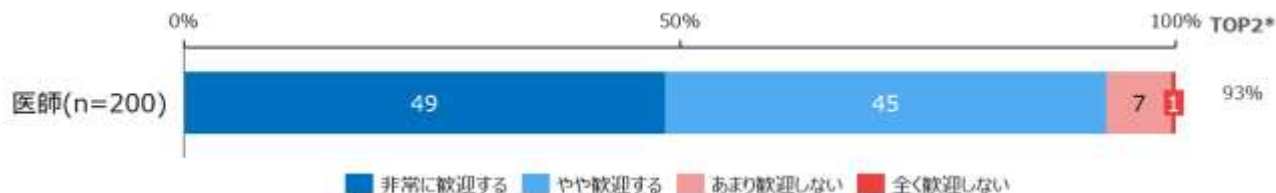
先生は汗に悩む患者さんに対し、「どの程度の症状」があれば皮膚科を受診・相談してほしいと考えますか。最も近い考えをお選びください。（単一回答）



医師調査Q5

汗の悩みを抱える患者さんが、具体的な治療をするかどうかは未定だが、「まずは話を聞いてみたい・相談したい」という目的で受診することについて、どう感じますか。（単一回答）

*TOP2：「非常に歓迎する」、「やや歓迎する」計

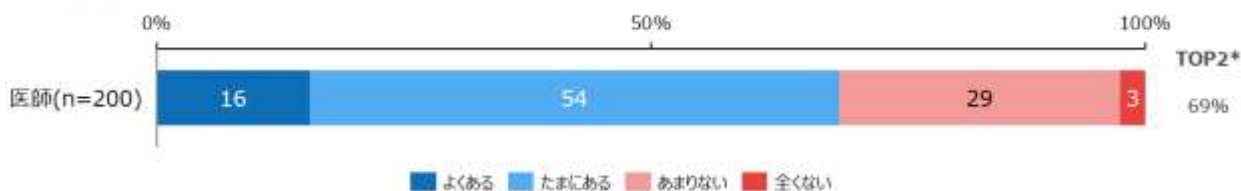


医師調査Q12

10代（中高生）の患者さんを診察する際、ご本人と保護者の間で、症状に対する認識ギャップを感じることはありますか。（単一回答）

【本人は深刻に悩んでいるが、保護者が「気にしすぎ」「成長すれば治る」と考え受診に消極的なケース】

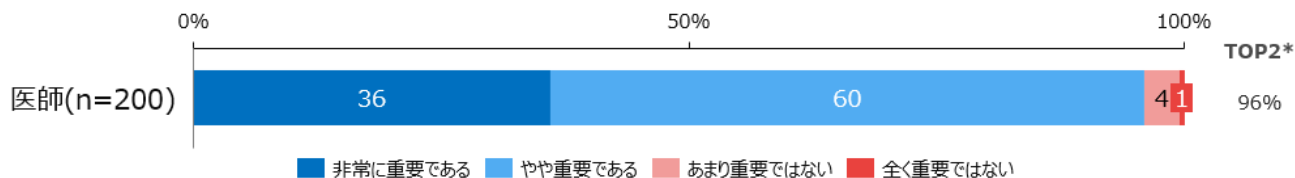
*TOP2：「よくある」、「たまにある」計



医師調査Q13

10代（中高生）の患者さんについて、早期（学生のうち）に適切な治療介入を行うことは、その後の「人生の選択肢」や「精神的な成長」において重要だと思いますか。（単一回答）

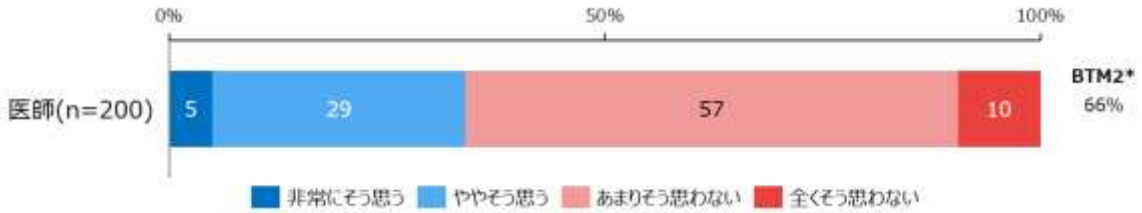
*TOP2：「非常に重要である」、「やや重要である」計



医師調査Q17

学校や職場において、多汗症の患者さんが過ごしやすくなるよう、環境（空調、服装規定など）や周囲の理解は進んでいる・整っていると思いますか。（単一回答）

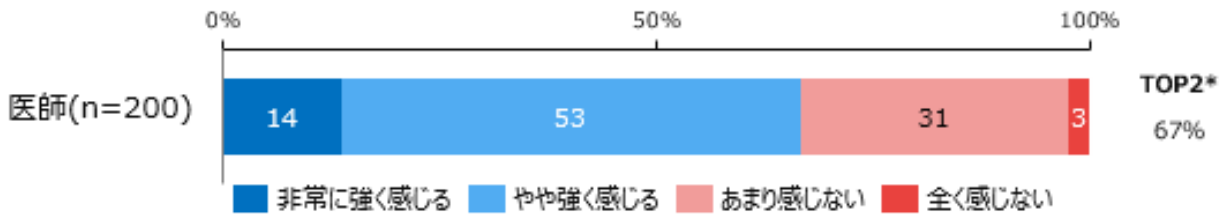
*BTM2：「あまりそう思わない」「全くそう思わない」計



医師調査Q18

汗をかいている人に対し、「不潔だ」「自己管理ができていない」といった偏見や精神論が、まだ社会にあると感じますか。（単一回答）

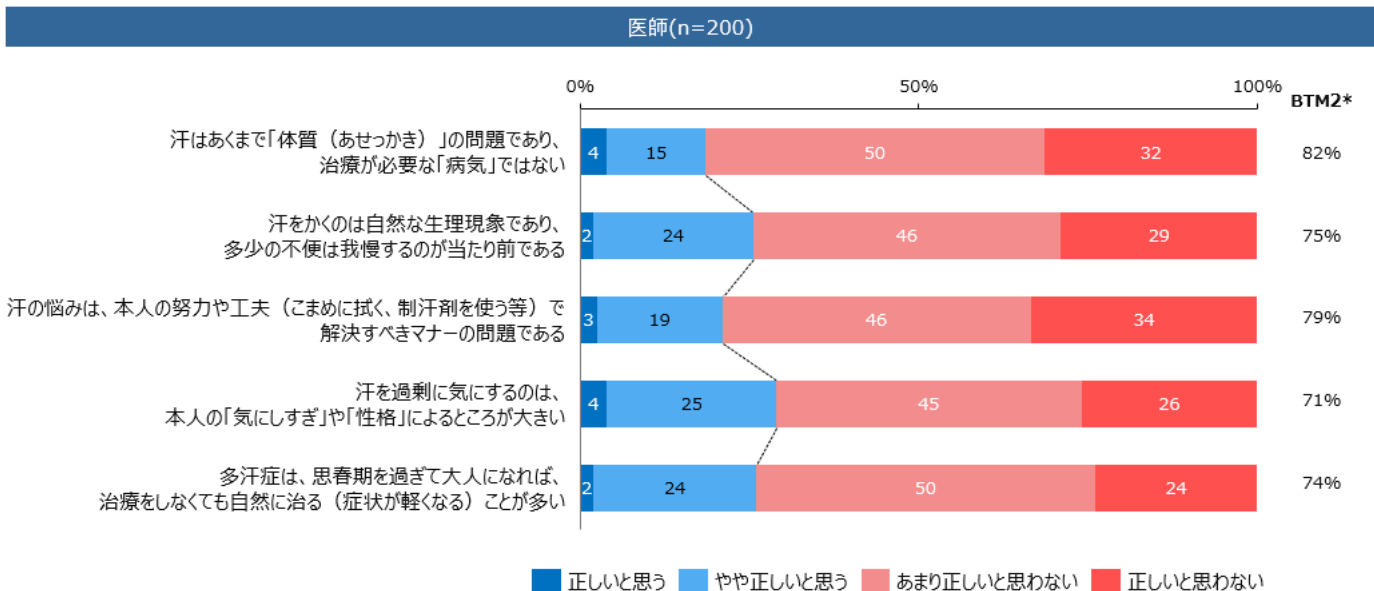
*TOP2：「非常に強く感じる」、「やや強く感じる」計



医師調査Q20

汗をかくことや、汗に関する以下の考え方は、医学的に見て正しいと思いますか。先生のお考えにあてはまるものをお選びください。（各項目単一回答）

* BTM2：「あまり正しいと思わない」、「正しいと思わない」計



医師調査Q21

以下のメッセージについて、皮膚科医としてのあなたのお考えをお選びください。（各項目単一回答）

*TOP2：「非常にそう思う」、「ややそう思う」計

